

《担当者名》(看護福祉学部)

教授/山田 律子

准教授/八木 こずえ

准教授/宮地 普子

准教授/内ヶ島 伸也

助教/中安 隆志

助教/船橋 久美子

【概要】

薬剤師と看護師は医師とともにチーム医療の中核を担うものであり、薬剤師にとって看護師との連携は非常に重要である。看護実践学は複雑化・高度化・専門化が進む看護学のコアとなる分野であり、患者個々の環境や状態、要求を考慮した最適の看護方法を創造する判断力と実践力を養う学問である。

【全体目的】

本科目は初歩的かつ具体的な看護実践の方法について学び、看護師の仕事内容や専門性を理解することを目的とする。

【学修目標】

- 1) 講義1～2および7～9では、看護の役割及び専門性に基づき、精神医療における看護実践の具体的な方法論の概要と、薬剤師と看護師のチーム医療における連携について概説できる。
- 2) 講義3～6および10では、高齢者医療や暮らしの場における看護師の仕事内容や専門性について説明することができ、薬剤師と看護師の連携をはじめ多職種連携によって、高齢者にとっての最善のケアを創出する方法について考えることができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	看護の概念と役割	看護の概念と、さまざまな場や方法による役割拡大を活かした専門性の発揮について概説できる。	八木 こずえ
2	精神医療における多職種連携	精神医療における多職種連携について、薬剤師と看護師を主軸に、連携の重要性や連携における留意点や方法を概説できる。	八木 こずえ
3	老年期を生きる人々の理解	加齢に伴う心身の変化や疾患をもつ高齢者の特徴について学び、高齢者医療や暮らしの場において薬剤師が果たす役割の重要性と、看護師や多職種との連携のあり方を考えることができる。	山田 律子
4	摂食嚥下障害をもつ高齢者のケア	摂食嚥下障害をもつ高齢者の特徴とケアについて学び、高齢者の食べる喜びを支えるために薬剤師が果たす役割の重要性と、看護師や多職種との連携のあり方について考えることができる。	山田 律子
5	排泄障害をもつ高齢者のケア	排泄障害をもつ高齢者の特徴とケアについて学び、高齢者の尊厳を支えるために薬剤師が果たす役割の重要性と、看護師や多職種との連携のあり方について考えることができる。	内ヶ島 伸也
6	認知症高齢者のケア	認知症高齢者の理解を深め、生活史を踏まえた環境調整の重要性を学ぶと共に、薬剤師が看護師や多職種との連携によってケアを創出する方法について考えることができる。	内ヶ島 伸也
7	対人関係構築の理論と実際	看護実践における対人関係モデルおよび医療場面における患者との対人関係構築の実際について概説できる。	宮地 普子
8	援助場面のリフレクション	リフレクションの概念と方法について、プロセスレコードを用いたリフレクションの実際を概説できる。	宮地 普子
9	コンコーダンス	コンコーダンスの概念および看護実践におけるコンコーダンス・スキルの活用について概説できる。	中安 隆志
10	高齢者のせん妄や転倒を予防するケア	高齢者に多いせん妄や転倒の特徴と予防するためのケアについて学び、薬剤師が果たす役割の重要性と、看護師や多職種との連携のあり方について考えることができる。	船橋 久美子

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

教員ごとに講義後のミニレポートを提出し、評価を行う（100%）。

【教科書】

特定しない

【参考書】

講義資料を参照すること

【学修の準備】

復習として、配付プリントや講義メモを活用して授業内容を確認し、理解を深めること（100分）。

【関連するモデルコアカリキュラムの到達目標】

F 薬学臨床

【薬学部ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

3. 多職種が連携する医療チームに積極的に参画し、地域のおよび国際的視野を持つ薬剤師としてふさわしい情報収集・評価・提供能力を有する。

【実務経験】

八木こずえ（精神看護専門看護師）、宮地普子（看護師）、中安隆志（精神看護専門看護師）、山田律子（看護師、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士）、内ヶ島伸也（看護師）、船橋久美子（老人看護専門看護師）

【実務経験を活かした教育内容】

講義1～2および7～9では、精神科病院での看護師・精神看護専門看護師としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。

講義3～6および10では、高齢者医療や暮らしの場における看護師・老人看護専門看護師としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。